

子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン） 大切なお知らせ

子宮頸がんなどの原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染を防ぐワクチンです。
対象年齢や接種方法を確認し、接種についてご検討ください。

■子宮頸がんとはどんな病気？

- ・子宮頸がんは、子宮の出口に近い部分にできるがんです。
- ・日本では毎年、約1万人の女性がかかり、約3,000人が亡くなっています。
- ・20歳代から増え始める病気です。

■男の子にも関係があります

- ・HPVワクチンは男の子にとっても中咽頭がん・肛門がん・尖圭コンジローマなどの予防効果が期待されています。
- ・自分自身の健康を守ることや、将来の大切な家族を守ることにつながります。

■子宮頸がん予防ワクチンの接種回数

- ・初回接種時の年齢により接種回数が異なります。
- ・初回接種が14歳までの場合は2回、15歳以上の場合は3回の接種です。
- ・早めの接種開始により、予防接種の回数を減らすことができます。
- ・お早めに接種をご検討ください。

■子宮頸がん予防ワクチンの安全性

- ・接種後に、接種部位の痛み・腫れ・赤み、発熱などが起こることがあります。
- ・まれに、重いアレルギー症状や神経系の症状が起こることがあります。
- ・接種後の重い症状の報告頻度は、1万人あたり約2人です。

女性（高校1年生相当まで）

予防接種法に基づく**定期予防接種**
接種費用： 無料です。

- ・接種には接種券が必要です。
- ・対象の方には、中学1年生の春頃に接種券をお送りしています。
- ・転入・紛失等で接種券がない場合は、再発行できます。

男性（高校1年生相当まで）

任意予防接種の費用を助成します
※令和8年度の費用助成は、

令和9年3月31日までです。

接種費用：

接種費用を大幅に助成します。
比較的、少ない自己負担額で
接種できます。

【↓ 子宮頸がん予防ワクチンについて、詳しくはこちらをご確認ください 】

厚生労働省
ホームページ



みよし市
ホームページ
(女性：定期)



みよし市
ホームページ
(男性：任意)



【問い合わせ】みよし市保険健康課

電話 0561-76-5880

ファクシミリ 0561-34-3388

電子メール hoken@city.aichi-miyoshi.lg.jp

